

気象情報伝送処理システム（アデス）東日本システムの障害について

10月6日14時02分頃、電源設備の工事に伴う電源断が発生し、気象情報伝送処理システム（以下「アデス」という。）の一部装置において障害が発生しました。

アデスは、東日本システム（東京都清瀬市）と西日本システム（大阪市）の2中樞から構成され、観測データの収集、気象官署間の通信、気象庁から関係機関や民間事業者への気象情報等の提供を担っています。今回の障害は東日本システムで発生したものです。

この障害により、東日本システムの通信機能が一時停止し、地方自治体整備の震度計等の観測データの収集、東日本システムへ接続している関係機関への情報提供ができなくなりました。また、気象庁ホームページの防災気象情報の更新等ができなくなりました。

関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

1 経過(概要)

14:02 東日本システムにおいて電源断が発生

14:15 状況確認後、東日本システムの障害発生について接続機関等へ周知



（この間、電源供給の復旧作業を試みる。）

15:11 電源の復旧に時間を要することが見込まれたため、東日本システムで行っていた処理の西日本システムへの切り替えを順次実施（16:30までに完了）

16:55 電源が復旧し、東日本システムの再立ち上げを開始

18:38 東日本システムの再立ち上げを完了

19:15 西日本システムへ切り替えていた処理の東日本システムへの切り戻しを実施（19:34完了）

20:35 東日本システムの正常運用を確認

2 障害に伴う主な影響

(1) 関係機関からの観測データ等の収集

気象庁は、地方自治体等の関係機関から震度観測データ等の提供を受けています。その多くはアデスを介して収集しており、今回の障害により、東日本システムに接続している機関からの収集が一時的に停止しました。

なお、気象庁整備の各種観測データの収集及び防災科学技術研究所から気象庁へ

の震度観測データの集信については異常がなく、気象、地震、津波の監視及び情報作成作業に大きな影響はありませんでした。

(2) 公的機関への情報提供

気象庁から地方自治体等の公的機関への情報提供は、主にアデス及び防災情報提供システムにより行っています。そのため、今回の障害により、アデスの東日本システムへ接続している機関への情報提供が一時停止しました。他方、防災情報提供システムによる警報等の防災情報の提供は通常通り実施していました。

(3) 気象業務支援センターから民間事業者への情報提供

気象業務支援センターを通じた民間事業者等への情報提供は、緊急地震速報、津波警報・注意報、震度速報、東海地震関連情報、土砂災害警戒情報については通常通り提供できる状況でしたが、その他の情報の提供は一時停止し、14時37分頃に復旧しました。

(4) 気象庁ホームページ

障害発生当初から、防災気象情報の更新ができなくなりました。

3 今回の障害の原因

電源設備工事に伴い、アデス東日本システムの一部構成機器に対して電源を供給している回路において過電流が発生したため、電源が断になったことが原因です。

なお、今回の障害への対策を実施した上で、アデス東日本システムは現在正常に運用しています。

<本件に関する問い合わせ先> 気象庁予報部業務課 03-3212-8341 (内線 3104)